

新成人おめでとう 地域の温もりで祝う門出



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,800人
男子 3,351人
女子 3,449人
世帯数 2,094戸
(14年1月末現在)



一月十三日、竜丘公民館の大ホールにおいて、竜丘地区自治協議会、竜丘公民館の共催で、竜丘独自の地区を上げての成人式が、新成人約六十人の参加で盛大に開催されました。

昨年まで飯田市全体で行われていた成人式は、今年から各地区ごと分散開催されることになり、歴史的な意味をもつ成人式となりました。

成人式は「記念式典」「記念行事」「記念祝賀会」の三部構成で開催されました。

第一部の記念式典は整然と行われ、木下公民館長の「この良き日、地区をあげて皆さんをお祝いしたい」というあいさつで開会しました。

来賓の祝辞に続いて「鈴岡太鼓」のメンバーによる民族の連帯感をテーマとした勇壮な祝太鼓の披露があり、その力強さに圧倒されました。

第一部の最後には、新成人を代表して北澤裕さんが「親元を離れ一人暮らしをしていると、

家にいた時「あたりまえ」のようにやってもらっていたことの大変さがよくわかり、人に対して感謝できるようにになった。これからは社会の一員として、責任ある行動をとり、社会に貢献できる人間になりたい」と抱負を語りました。

第二部の記念行事は、昨年七月から準備を進めてきた新成人有志六人による実行委員の運営により行われました。まず、小学校三年の時に封をしたタイムカプセルを十一年ぶりに当時の担任とともに開けました。

箱の中からは、当時の夢や思い出を書いた作文や学級

私は今年、成人を迎えました。やっと二十歳だっで喜んでいいのか、もう二十歳になってしまったのかという微妙なところですが、やっぱりめでたい事なので嬉しいです。

二十歳って一体、今までと何が違うんだらうって考えた時に、そんなに大きく変わるものはないのではないかと思いましたが、自分自身の気持ちも今まで通りだし、生活もそう

私は今年、成人を迎えました。やっと二十歳だっで喜んでいいのか、もう二十歳になってしまったのかという微妙なところですが、やっぱりめでたい事なので嬉しいです。

二十歳って一体、今までと何が違うんだらうって考えた時に、そんなに大きく変わるものはないのではないかと思いましたが、自分自身の気持ちも今まで通りだし、生活もそう

念花火の打ち上げがあり閉会となりました。

「あたりまえ」にあるものに対し、その中で暮らしている人は「何も無い」と思いがちになります。でも一歩外に出てみると「あたりまえ」が実はすごく豊かなことであると気づかせてくれます。

自然文化、人情の豊かな竜丘地区をあげての今年の新成人式は、

私が二十歳になって思うことは、小さい頃は二十歳といえど大人だと思っ ていましたが、実際なってみると「特に変わらな いんだな」と感じました。

しかし、二十歳は選挙権 など、色々な責任があるの で、これから責任を持つ た行動を行おうと思いま す。

成人式の日、開けた夕 べは今年、成人を迎え ました。やっと二十歳だっ で喜んでいいのか、もう 二十歳になってしまった のかという微妙なところ ですが、やっぱりめでた い事なので嬉しいです。

二十歳って 一体、今まで と何が違うんだらうって考 えた時に、そんなに大き く変わるものはないので はないかと思いましたが、 自分自身の気持ちも今ま で通りだし、生活もそう

私は今年、成人を迎え ました。やっと二十歳だっ で喜んでいいのか、もう 二十歳になってしまった のかという微妙なところ ですが、やっぱりめでた い事なので嬉しいです。

二十歳って 一体、今まで と何が違うんだらうって考 えた時に、そんなに大き く変わるものはないので はないかと思いましたが、 自分自身の気持ちも今ま で通りだし、生活もそう

私は今年、成人を迎え ました。やっと二十歳だっ で喜んでいいのか、もう 二十歳になってしまった のかという微妙なところ ですが、やっぱりめでた い事なので嬉しいです。

二十歳って 一体、今まで と何が違うんだらうって考 えた時に、そんなに大き く変わるものはないので はないかと思いましたが、 自分自身の気持ちも今ま で通りだし、生活もそう

私は今年、成人を迎え ました。やっと二十歳だっ で喜んでいいのか、もう 二十歳になってしまった のかという微妙なところ ですが、やっぱりめでた い事なので嬉しいです。

二十歳って 一体、今まで と何が違うんだらうって考 えた時に、そんなに大き く変わるものはないので はないかと思いましたが、 自分自身の気持ちも今ま で通りだし、生活もそう

私は今年、成人を迎え ました。やっと二十歳だっ で喜んでいいのか、もう 二十歳になってしまった のかという微妙なところ ですが、やっぱりめでた い事なので嬉しいです。

二十歳って 一体、今まで と何が違うんだらうって考 えた時に、そんなに大き く変わるものはないので はないかと思いましたが、 自分自身の気持ちも今ま で通りだし、生活もそう



地域の豊かさを再認識する、忘れることのできない成人式となりました。

念花火の打ち上げがあり閉会となりました。

「あたりまえ」にあるものに対し、その中で暮らしている人は「何も無い」と思いがちになります。でも一歩外に出てみると「あたりまえ」が実はすごく豊かなことであると気づかせてくれます。

自然文化、人情の豊かな竜丘地区をあげての今年の新成人式は、

二十一世紀の暮明け早々から、暗いニュースばかりが聞かれるなかで、今世紀最初の冬季オリンピックが始まりました。

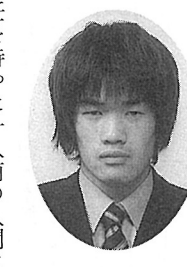
思えば前回は長野だったためか、はたまたワールドカップが待ち遠しいのか、今ひとつ盛り上がり欠ける気もするが、参加する選手にとっては四年に一度の大舞台だけに、しっかりと応援したいものである。

さて、オリンピックの家徽である五輪のマークは、五大大陸をイメージして作られたらしい。したがって開催地も、各地を移動している。これは、あらゆる場所に充実した施設を造ると同時に、人々が生のスポーツを見て感動し興味を抱くような、世界的規模でのスポーツ人口増加が根本にあると思う。

なぜなら、スポーツの大会とは、宗教や政治のカベを越える力があるからだ。たとえ経済状況が悪化していても、それぞれの国や地域が、何とか選手団を送り出そうと努力している姿には感心させられる。

しかし、その反面、昨今の招致活動は経済効果だけを求める傾向にあるのではないだろうか。そう言えはあまり目立たなかったが、大阪が立候補していたが、日本は、東京、札幌、長野と過去三回のオリンピックを経験し、設備も充実している。後はいかにスポーツの振興に繋げるかだ。

青壮年層のスポーツ離れが危惧される中で、来たる四月からは学校完全週休二日制も導入される。これを機会に親子でスポーツに取り組む事は、健康管理だけでなく、もっと重い意味を持つのではないだろうか。



任を持った一人前の人間になっていきたいと思えます。成人式の実行委員を通じて、地域のみさんの協力

桐林 林 克也



責任を持って行動しなくてはなりません。何事にも中途半端にならないよう、やる事はきちんと最後までやり通したいです。今の仕事

長野原 今村 華子

念花火の打ち上げがあり閉会となりました。

「あたりまえ」にあるものに対し、その中で暮らしている人は「何も無い」と思いがちになります。でも一歩外に出てみると「あたりまえ」が実はすごく豊かなことであると気づかせてくれます。

自然文化、人情の豊かな竜丘地区をあげての今年の新成人式は、

大ホールに響きわたる 歌声と調べ

第7回 ニューイヤーコンサート

公民館の新春を飾る、ニューイヤーコンサート。六年前にうぶ声をあげたこのコンサートも、年々出演者の数や内容の質が上がっています。今回は、国際色豊かなものも加わりました。

新公民館の素晴らしいステージでの初めての開催となった今回は、よりコンサートの趣をますますにしました。それは、出演者の方の語りの時間を少なくし、観客のみなさんにより多く音楽を聴いてもらう時間を増やしました。

一月二十六日、竜丘公民館大ホール。開会のあいさつが終わりオープニングのコーラスが始まる頃になって、ホールには続々と人が集まってきました。予想より多い人で椅子が足りず、急いで倉庫から出してくる一幕も。



大正琴を演奏する子どもたち

個人、団体十四の発表があり、出演者と観客合わせて百五十余名をもちました。初めてコンサートにきた人は「みんなすごいですね」と感心し、多彩な楽器の演奏に聞き入り、忘れがちな「自分たちの文化の誇り」を感じます。歌声もホールに響きわたりました。オープニングを飾ったコーラス。フルートの音色の伴奏付で、オリジナル曲の合唱。オートハープの伴奏での韓国の歌「イムジン川」の歌唱。会場から、より大きな拍手があつたのは、竜丘小学校合唱クラブによる発表でした。腹の底から大きな声を出し、満身の力を込めて歌う姿には心打つものがありました。



モンゴル民族楽器を奏でる

龍丘窯の 火入れ式行われる

一月二十四日大安、火主事、業者と、陶芸クラブの安全と陶芸作品の成果の発足が果たされている大人の学校を願って「龍丘窯」(粘土焼窯の名称)の火入れ式が、実習室の東側に新設された窯の前で厳粛におこなわれました。この「龍丘窯」は、以前から陶芸をしたいという、地域の方々からの強い希望が実現され、新公民館建設にあわせて購入された立派なものです。火入れ式には、館長、

一月二十四日大安、火主事、業者と、陶芸クラブの安全と陶芸作品の成果の発足が果たされている大人の学校を願って「龍丘窯」(粘土焼窯の名称)の火入れ式が、実習室の東側に新設された窯の前で厳粛におこなわれました。この「龍丘窯」は、以前から陶芸をしたいという、地域の方々からの強い希望が実現され、新公民館建設にあわせて購入された立派なものです。火入れ式には、館長、



まず、私たち大人の学校の中でクラブを発足し、費用がかかるのか分らない状況です。皆さんが積極的にこれを利用して、「龍丘窯」の作品が見られる日が今から楽しみです。

会場全員で「故郷」を大合唱し、コンサートは閉幕しました。美しい歌声と調べに、心がなごみ、なによりも励まされ、そして力づけられ、そう感じたすばらしいコンサートでした。

母さんを夢中になって応援をしている子どもたちの姿も、あちらこちらで見られ、家庭的な雰囲気もありました。結果は次の通りです。

(男子の部)
優勝 上川路(中央)
二位 長野原(三番組)
三位 時又(十一常会)
(女子の部)
優勝 時又(十一常会)

白銀の日に 白球を追って

竜丘ソフトバレーボール大会

去る二月三日、竜丘ソフトバレーボール大会が行われました。当日は、雪の降る悪天候でしたが、随所に見られる姿がありました。



日頃あまり運動をする機会が少ないためか、長いラリーが続いた後は、息を切らせている姿もありました。素晴らしいスパイクが決まったり、決まったと思つた球を返したりと、一戦一戦が熱戦でした。お父さん、お

いっしょに輝く公民館

竜丘公民館年末大掃除

年の瀬を迎えた十二月九日に、竜丘公民館年末大掃除が行われました。大掃除には公民館を利用されている分館・本館の役員、日赤の皆さん、大人の学校や各サークルで活躍されている皆さんが、例年より五十名ほど多い二百二十名の参加となりました。

当日はポカポカと暖かい陽射しの中、一時三十分より館長と日赤委員長の原つきさんからの挨拶があり、その後各分館に分かれて大掃除が始まりました。



新しい公民館でも八ヶ月経てば窓も汚れてきます。特に高い窓を拭くのは大変で、三脚や高い窓拭き布を使って苦労していました。

手ぬぐい、白のかっぱを着た日赤の皆さんが慣れた手つきで掃除や指導にあたり、二時間後には、竣工当時の輝いた公民館に生まれ変わりました。

飛躍する年に

公民館長 木下陸奥



年が改まり、気分を一新して平成十四年が出発できることは、このうえない喜びであります。今年も諸事業が地域の皆さんの役に立ち、地域がいつそう躍進するよう努力してまいります。たいと思います。昨年、竜丘公民館にとりましてまさに飛躍の年でありました。五月の新公民館竣工以来、内外ともに大きな行事や催しが実施されました。竜丘の人々の交流の拠点として位置づき、公民館に対する期待と関心が深まってまいりました。

公民館活動の推進的役割を担っている各分館の館長・主事をはじめ、専門部委員の方々の熱心な取り組みにより新しい館に内容ある活動がみなぎってまいりました。公民館が共催で実施されました。新成人の初々しい晴姿にびったり相寄る大ホールの空間が一際、祝賀にふさわしい情景を醸し出しており、参列していた百有余名の皆さんに深い感動を与えてくれました。『ニューイヤーコンサート』は大ホールいっぱい音楽を最高に楽しむことができ、百五十余の方々満足できました。

このように、公民館を「成人式」は、自治会と使ったの行事が十分な成果を果たせることができると、立派な館があるおかげであります。と同時に、その整った立派なものに最大限に活用しよう、熱心に取り組まれている皆さんがいるからであります。

平成十四年は新公民館の二年目であり、立派な公民館を欲しくて地域の皆さんの熱意で建設したものであります。名実ともに地域の拠点となるよう、努力して参りたいと思っております。